



2024 もてぎ Joy 耐チャレンジ

2024年7月5日

競技長

● 共通事項

1. “Joy 耐チャレンジ”は、様々な速さの車両と様々な技量のドライバーが走行します。走行にあたっては周囲の車両への配慮が必要不可欠です。また、走行に際しては必ず自己の技量の範疇でルールを守って走行してください。
2. 予選・決勝レースを通じて、ピット内で調整のためのエンジン始動には補助エネルギー源（外部バッテリーなど）の使用が許されますが、走行する際には、車両に搭載のエネルギー源および始動装置によってエンジン始動させなければなりません。
3. ピットレーンの制限速度は 40km/h です。
4. 規定の走路から外れたり、コーナーをショートカットしたりして走行することは禁止です。
走路は白線で明示され、この白線を逸脱してはなりません。黄旗区間やセーフティカー(SC)導入中などは、十分に注意して走行してください。
規定の走路から外れたり、コーナーをショートカットしたりして走行した場合は、公式予選においては当該周回のタイム不採択や、決勝レースにおいてはペナルティ等が課せられます。(特別規則 第41条)
5. 何らかの理由によりスロー走行する場合は、コース右側を走行してください。
6. 各ポストにライトパネルを設置しています。ライトパネルはフラッグ（旗表示）の補助表示として使用いたします。
7. コースアウトしてグラベルから脱出できない場合、ドライバーはエンジンを停止し、ギアをニュートラル状態にしてください。その後、レスキューが車両を安全な場所、あるいは再スタート可能な場所に移動します。また、再スタートできない場合は、速やかに車両から離れガードレールの外側に退避してください。ガードレールの外側に退避するまではヘルメットを着用してください。
8. ピットレーンおよびピットでのリバースギア使用は禁止します。もしピットイン時に自チームのピットを通り過ぎてしまった場合はオフィシャルの承認を得て当該車両のドライバーおよびピットクレーンによって後ろ向きに押し戻し、自己のピットにつけることができます。
(後退ギアの使用は禁止され、違反に対してはペナルティが課されます。)

● 決勝

9. スタートは、ローリングスタートです。別紙スタート図の通り配列します。グリッド上での給油は禁止です。
10. グリッドへの移動については、自走にてコースインし西コースを1周して指定されたグリッドについてください。
(グリッドにつけなかった車両はピットスタートとなります)
11. 「1分前」ボード表示の後、車両の異常でスタートできなくなったドライバーは手を上げて合図をしてください。
グリッドマーシャルが後方の車両へ黄旗で合図します。全車スタート後、マーシャルによって車両を押しがけすることができます。
この場合、走行グループの最後尾に合流してください。
12. ローリングラップ中、明らかに問題をかかえて走行している車両を除き、追い越しは禁止です。また、何らかの理由によりスタートが出遅れたり、隊列についていけない車両は、後続に合図をしてからラインを外してください。この場合、元のポジションに戻ることはできません。
13. 隊列が整いスタート可能な状態になった場合は、10.5番ポスト付近のコース両サイドに「GRID」ボードが提示されます。
この地点でドライバーは自車の位置を確認してください。先導車両はピットロードからコースアウトします。その後は、先頭車両がペースメーカーとなり、加速することなく隊列を整えてスタートラインに向かってください。
14. レースのスタート合図は、スタートシグナルのレッドライトがグリーンライトに変わった時点となります。(日章旗も併用します。)
ただし、自車がスタートラインを超えるまで追い越しが禁止されます。

15. 反則スタートおよびその他の違反に対するペナルティとして、「ペナルティストップ」または「ドライビングスルーペナルティ」が課される場合があります。

◆ドライビングスルーペナルティ

ドライビングスルーペナルティはコントロールタワー下のメインポストで、D + 競技番号ボード（黒ベースに黄のD字）が提示されます。

該当車両は3周以内にピットインし、自己のピットに停止することなくピット出口からコースに復帰してください。

また、状況により同時に複数の車両にドライビングスルーペナルティを提示する場合があります。

◆ペナルティストップ

ペナルティストップはコントロールタワー下のメインポストで、P + 競技番号ボード（黒ベースに赤のP字）が提示されます。

該当車両は3周以内にピットインし、ペナルティストップエリアにて停止後、少なくともタイムペナルティとして課せられた時間を停止した後、ピットレーン出口からレースに復帰してください。

16. 給油エリアは、全車スタートライン通過後からオープンします。万一、給油エリア入口を通り過ぎてしまった場合は、コースをもう一周していただくことになります。給油エリアはバスコントロールされています。入場の際は必ずバスをご提示ください。給油エリアからピットレーンに進入する際は、表示に従い必ず一時停止をしてください。
17. 青旗は後方から速い車両が追い越しをしようとしている合図です。
(青旗を振られたらミラーを確認し、早い機会に追い越させてください)
18. セーフティカー（SC）介入の必要があればレース中 先頭車両の走行地点にかかわらず、ただちにコースに介入します。競技車両はセーフティカーの後方に車間距離を詰めて一列に整列して走行してください。合図の補助として黄色点滅の信号灯を表示します。セーフティカーがピットロードに入り再スタートする場合、各車両はスタートラインを通過するまで追い越しは禁止です。（国際モータースポーツ規則のH項セーフティカールールに従ってください）
19. レース中、先行車両はストレート部分での後続車の進路をブロックする目的での進路変更は禁止します。また、コーナーでの異常な進路変更を伴うと判定されたブロックはペナルティの対象となります。
20. 何らかの理由により車両からオイル漏れがあった場合、できるだけ早くコースから外れグリーン上に車両を停止させてください。これに従わない場合、ペナルティの対象となります。
21. コース脇の4箇所の「FIRE STATION」看板は十分な消火活動（消火車両・消火要員待機）が可能な場所です。
22. 赤旗が出てレース中断となった場合はコース上およびピットロード上の赤旗ラインに停止してください。ただし、レース距離75%以上の場合（135分経過後）は、パークフェルメに向かいオフィシャルの指示に従ってください。コースに設置された赤の信号灯にて補助します。
23. 赤旗およびセーフティカー導入時にドクターカーとETカーがコースインする場合がありますので注意してください。
24. 天候状況により、スタート進行およびレース中、コントロールタワーフラッグ台で「Light ON」のボードが提示される場合があります。「Light ON」ボードが提示された場合は直ちにライトを点灯してください。
25. 決勝レース中にコースコンディションおよびドライビングマナー確認のため、オフィシャルカー（CIVIC TypeR 白色）がコース内に介入して走行する場合があります。
26. 本コース上およびピットレーン上にコントロールラインがあり、自走でコントロールラインを通過した車両が順位認定を受けられます。ただし、コース上でチェッカーを受ける車両の当該最終ラップタイムは5分以内を原則とします。5分を超過した場合、スロー走行と判断し順位認定されない場合があります。ピットレーン上のチェッカーに関してラップタイム制限時間はありません。
27. チェッカー後、先頭車両の前にオフィシャルカーが4コーナー先からコースインします。オフィシャルカーに続き全車フルコースを1周後、ピットインし第2パドック開口部から、車両保管場所へ移動してください。
28. 車両保管解除後、公道車検は車両保管場所で行います。（特別規則 第34条）

以上